

フリー北斗 風 (現場)からの

宮田守男

事典「ウヰキペディア」で調べるといニンニクは、学名ヒガノバナ科ネギ属の多年草で球根を香辛料と用いられると言っている。日本ではニンニクやノビルなど、臭い植物を総称して「わい」と呼んでいた。

食品の中でも非常に多い部類とし、新陳代謝・疲労回復・癌予防効果・殺菌力など注目され続けている作物だ。

(主婦の友社)の企画記

(台)で10日から16日ほど
じ続けるだけ。保温が
自動停止する機種でな
いものをお勧め。ただた
し、二二二ク煮がつき
他の料理には使えない
なので、専用になつ
てしまふ事と、最初の
1週間は、すさまじい

収集するが、本格的に栽培して、5年、失敗と発見の連続だった。代表的な品種の「福地ホワイト6片種」、白馬の融雪時期の関係から、芽吹きまでに葉の太さを確保できない環境。毎年の天候に合わせて。

で長期間育成させる栽培方法。害虫予防のための消毒が不要なこと。多くの購入者からの「旨み」の評価。特に評判の「白馬産」のネームバリュー。特産品とは、珍しい農産物

の生産でなく、その地域に適した農産物の栽培だと、改めて感じた時でもあった。



ニンニク栽培、収穫までに土づくり経費や種の購入経費など多額な先行投資が必要となり生産者の増加に結びついていない